

転貸融資が大幅減

北保証サービス4—6月

資金需要活発化の見込み

北保証サービスは、2015年度第1四半期（4—6月）の金融事業取り扱い実績をまとめた。地域建設業経営強化融資制度（転貸融資）は、前年同期比88・1%減の1840万円で、前年同期から大幅に減少した。この時期は取扱額自体が小さく、件数も8件から2件に減少したことが影響した。これから出来高が一定に達する工事が出てくる中、今後は徐々に資金需要の動きが活発化すると予想される。

一方、下請債権保全支援事業（債権支払保証）は、件数で16件減の55件、3億1253万円とそれぞれ22・5%、45・0%減少した。

地域別建設業経営強化融資制度は、北海道が533万円、市町村が1307万円。月別件数では、4、5月がゼロで6月が2件だった。

下請債権保全支援事業は、個別保証の売掛金保証が7件9010万円、手形保証が40件1億2505万円、枠保証が8件9739万円だった。

月別では4月が26件1億1094万円、5月が15件1億1498万円、6月が14件8662万円となった。